

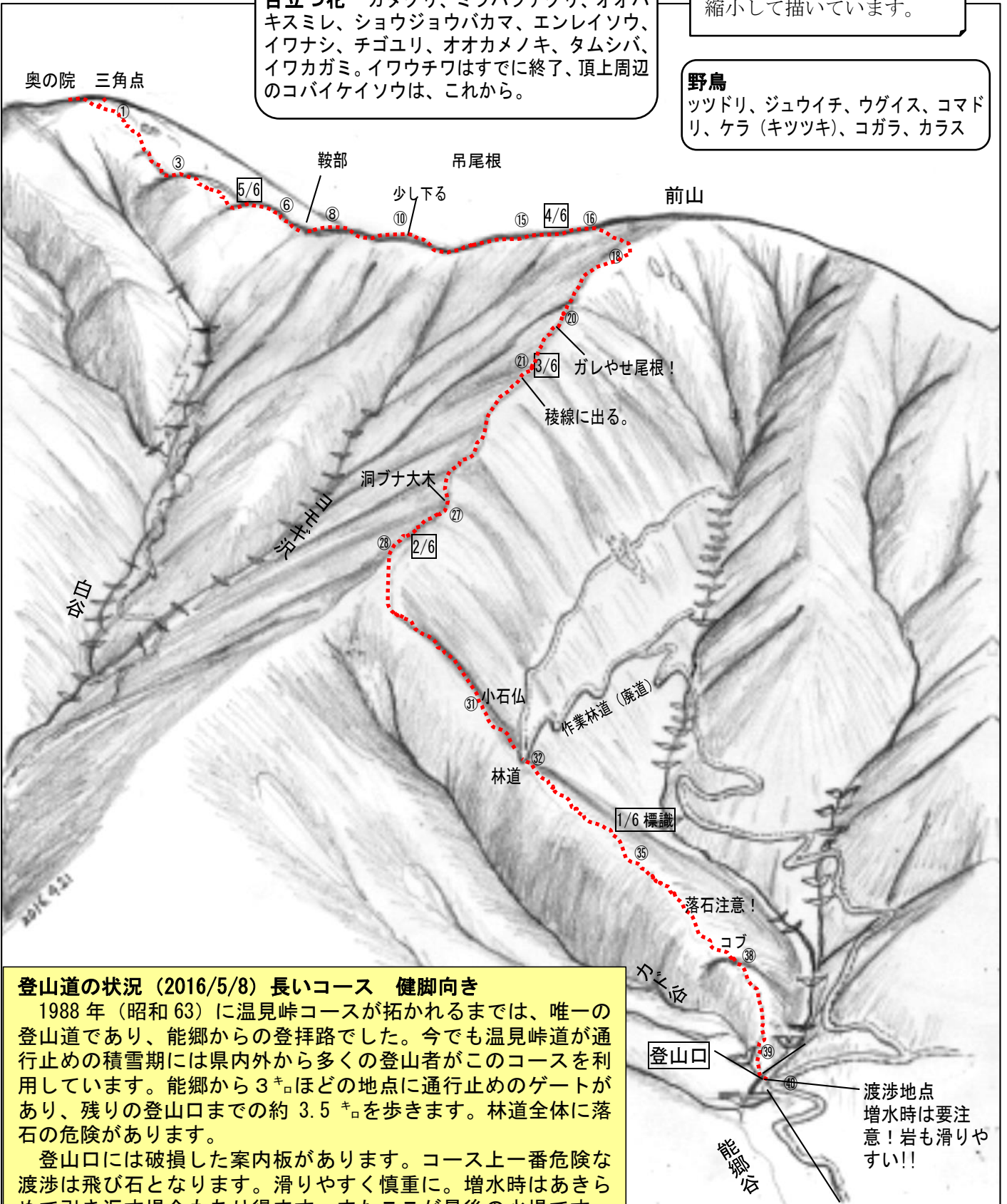
# 能郷白山 能郷谷コース

2016年5月8日調査

**目立つ花** カタクリ、ミツバツチグリ、オオバキスミレ、ショウジョウバカマ、エンレイソウ、イワナシ、チゴユリ、オオカメノキ、タムシバ、イワカガミ。イワウチワはすでに終了、頂上周辺のコバイケイソウは、これから。

※鳥瞰図のため、奥の方を縮小して描いています。

**野鳥**  
ツツドリ、ジュウイチ、ウグイス、コマドリ、ケラ（キツツキ）、コガラ、カラス



## 登山道の状況 (2016/5/8) 長いコース 健脚向き

1988年(昭和63)に温見峠コースが拓かれるまでは、唯一の登山道であり、能郷からの登拝路でした。今でも温見峠道が通行止めの積雪期には県内外から多くの登山者がこのコースを利用しています。能郷から3kmほどの地点に通行止めのゲートがあり、残りの登山口までの約3.5kmを歩きます。林道全体に落石の危険があります。

登山口には破損した案内板があります。コース上一番危険な渡渉は飛び石となります。滑りやすく慎重に。増水時はあきらめて引き返す場合もあり得ます。またここが最後の水場です。

1/6までは急坂もあり、落石、転落に注意。3/6のすぐ先の20手前あたりは短いガレた痩せ尾根があるので強風時には要注意です。吊尾根は気持ちの良いブナ帯です。ただし、冬型の天候の時は前山から先は荒れていることも多いです。十分な装備と体力が必要なコースです。

ゲートから登山口まで3.5キロメートル。徒歩約1時間。